



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社 アマダ 上場取引所 東
 コード番号 6113 URL <https://www.amada.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 磯部 任
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 三輪 和彦 (TEL) 0463-96-1111
 財務部門長
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	217,158	26.5	26,552	40.2	28,412	35.0	20,360	47.1	20,201	47.1
2021年3月期第3四半期	171,715	△24.8	18,941	△24.4	21,041	△19.4	13,837	△23.6	13,732	△23.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 27,423百万円(51.8%) 2021年3月期第3四半期 18,068百万円(4.7%)

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	58.11	—
2021年3月期第3四半期	39.50	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	587,967	466,964	462,947	78.7
2021年3月期	557,298	450,813	447,077	80.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年3月期	—	17.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	21.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	23.8	38,000	42.3	27,000	45.4	77.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期3Q	359,115,217株	2021年3月期	359,115,217株
2022年3月期3Q	11,454,501株	2021年3月期	11,452,346株
2022年3月期3Q	347,661,741株	2021年3月期3Q	347,665,022株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書	9
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
3. 補足情報	14
受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ワクチン接種の普及や政府の財政政策、中央銀行による金融緩和等により、先進国を中心に回復を示し、同様に設備投資についても大きく改善しました。但し足元では、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大や長引く労働力不足、部品・材料の供給制約の問題などの影響が顕在化しつつあり、依然として先行き不透明感を払拭できない状況が続いております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の当社の経営成績は、売上収益217,158百万円（前年同期比26.5%増）となりました。このうち、国内は79,922百万円（前年同期比9.4%増）、海外は137,235百万円（前年同期比39.1%増）となりました。

営業利益は、増収及び操業度向上に伴う売上利益増加に加え、販売費及び一般管理費の抑制継続、為替の円安推移等により、26,552百万円（前年同期比40.2%増）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益が20,201百万円（前年同期比47.1%増）となりました。

事業別・地域別の概況については、以下のとおりです。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
金属加工機械事業					
売上収益	140,257	81.7	177,748	81.9	26.7
(板金部門)	(124,634)	(72.6)	(158,865)	(73.2)	(27.5)
(微細溶接部門)	(15,622)	(9.1)	(18,882)	(8.7)	(20.9)
(調整額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
営業利益	17,332	—	21,537	—	24.3
金属工作機械事業					
売上収益	30,458	17.7	38,479	17.7	26.3
(切削・研削盤部門)	(21,291)	(12.4)	(27,532)	(12.7)	(29.3)
(プレス部門)	(9,167)	(5.3)	(10,947)	(5.0)	(19.4)
(調整額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
営業利益	592	—	4,366	—	636.5
その他(注)					
売上収益	1,000	0.6	929	0.4	△7.1
営業利益	1,016	—	648	—	△36.2
調整額					
売上収益	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	171,715	100.0	217,158	100.0	26.5
営業利益	18,941	—	26,552	—	40.2

(注) その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

① 金属加工機械事業

売上収益は177,748百万円（前年同期比26.7%増）、営業利益は21,537百万円（前年同期比24.3%増）と増収増益でした。

<板金部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	50,418	40.5	54,346	34.2	7.8
海 外	74,216	59.5	104,519	65.8	40.8
(北米)	(33,342)	(26.7)	(44,253)	(27.9)	(32.7)
(欧州)	(24,564)	(19.7)	(37,237)	(23.4)	(51.6)
(アジア他)	(16,309)	(13.1)	(23,028)	(14.5)	(41.2)
合 計	124,634	100.0	158,865	100.0	27.5

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。（以下の表も同様。）

日本：日本経済は、外需の回復等により企業活動の正常化が進む中、製造業の業況も回復基調を示し、機械受注は新型コロナウイルス感染拡大前の水準を超えて推移しております。一方で年度後半に入り、部品不足や材料高騰、オミクロン株の感染拡大等を背景に、増勢は弱まりつつあります。当社においても財政政策の後押しも受け、半導体製造装置や工作機械・その他産業機械などの一般機械関連や5Gを背景としたOA・コンピュータ機器や通信機器、その他医療機器等、様々な業種で需要が増加しました。そのような需要環境の中、売上収益は供給制約の問題に加え、比較的納期の長い政府補助金受注等も多く見られたため、54,346百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

北米：米国経済は、足元では利上げやインフレの継続といった懸念事項が出ておりますが、政府による財政政策や金融緩和、ワクチン接種の進展などにより新型コロナウイルス感染拡大前の水準に拡大しており、設備投資も製造業新規受注指数や鉱工業生産指数が高水準での推移を続けるなど、概ね堅調に推移しました。当社におきましても企業の設備投資意欲が高まる中、労働力不足を背景に自動化商品の需要拡大も後押ししたことで販売が増加し、売上収益は44,253百万円（前年同期比32.7%増）となりました。

欧州：欧州経済はワクチン接種が進む中、各国のGDPも概ね高成長が見られました。ユーロ圏の景況感指数はオミクロン株の感染急拡大や供給面の制約の見られた足元では下がったものの高水準をキープしており、特に製造業を含む鉱工業は高い数値を示しております。このような中、当社においてもベンディングマシンなどで納期に一部影響が生じましたが、水素エネルギー関連や充電ステーション等のEV関連や半導体製造装置、医療機器、農機具等が需要を牽引したことで、イギリス・フランス・イタリア・ドイツ等の各主要市場で大幅増収となったことから売上収益は37,237百万円（前年同期比51.6%増）となりました。

アジア他：世界的な半導体等の需要高騰の後押しにより、輸出が好調な台湾や韓国におきましては、半導体製造装置や電子機器関連向け等で販売が大幅に増加しました。中国でも、足元で鈍化は見られるものの設備投資の成長は持続しており、当社においても主に外需向けに5G投資関連、EV関連、医療機器などが好調に推移し、内需向けに再生可能エネルギー関連向けなどの販売が好調に推移しました。また、インドでも経済活動の正常化に伴い、インフラ・建設関連を筆頭に設備投資が回復したことから、販売がV字回復を示しました。一方でASEANは、タイやベトナムでのロックダウンの影響等により、販売の伸びは他の国々に比べ緩やかでしたが、地域全体としての売上収益は23,028百万円（前年同期比41.2%増）と好調に推移しました。

<微細溶接部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	3,403	21.8	3,505	18.6	3.0
海 外	12,219	78.2	15,377	81.4	25.8
(北米)	(2,950)	(18.9)	(3,436)	(18.2)	(16.5)
(欧州)	(2,964)	(19.0)	(3,357)	(17.8)	(13.2)
(アジア他)	(6,303)	(40.3)	(8,582)	(45.4)	(36.2)
合 計	15,622	100.0	18,882	100.0	20.9

全地域で増収でしたが、特に韓国や中国などでは主力のリチウムイオン電池関連の好調が寄与しました。また、北米では自動車関連に加え、医療機器業界でも販売が増加しました。

② 金属工作機械事業

売上収益は38,479百万円（前年同期比26.3%増）、営業利益は4,366百万円（前年同期比636.5%増）と増収増益でした。

<切削・研削盤部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	10,889	51.1	12,624	45.9	15.9
海 外	10,401	48.9	14,908	54.1	43.3
合 計	21,291	100.0	27,532	100.0	29.3

国内では鋼材や建築資材加工向けに切削マシンや形鋼加工機の販売が拡大しました。海外においても経済回復や鋼材需要の高騰に伴い、鋼材販売業向けに切削マシンの販売が大幅に増加しました。

<プレス部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	7,374	80.4	8,527	77.9	15.6
海 外	1,792	19.6	2,419	22.1	35.0
合 計	9,167	100.0	10,947	100.0	19.4

大口顧客である自動車関連業界では、前年同期が新型コロナウイルス感染拡大により大きく落ち込んだため、増収となっていますが、半導体等の供給面での制約を起因とする自動車の減産・生産調整によってお客様の設備投資意欲にも停滞感が見られました。一方で建築関連向けの販売は好調に推移しました。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

(地域別売上収益の状況)

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	73,082	42.6	79,922	36.8	9.4
海 外	98,633	57.4	137,235	63.2	39.1
(北米)	(41,007)	(23.9)	(53,722)	(24.7)	(31.0)
(欧州)	(30,997)	(18.0)	(45,697)	(21.1)	(47.4)
(アジア他)	(26,628)	(15.5)	(37,815)	(17.4)	(42.0)
合 計	171,715	100.0	217,158	100.0	26.5

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2021年3月末)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月末)	増減
流動資産(百万円)	307,009	335,728	28,718
非流動資産(百万円)	250,288	252,238	1,949
総資産(百万円)	557,298	587,967	30,668
負債(百万円)	106,485	121,003	14,517
資本(百万円)	450,813	466,964	16,151
親会社所有者帰属持分比率	80.2%	78.7%	△1.5pt

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して、30,668百万円増加し、587,967百万円となりました。流動資産については、現金及び現金同等物の増加、高水準の受注に応える過程で棚卸資産が増加したこと等により前連結会計年度末比28,718百万円増加の335,728百万円となりました。非流動資産は設備投資に伴う有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比1,949百万円増加の252,238百万円となりました。

負債は生産増に向けた営業債務の増加を主因として前連結会計年度末と比較して14,517百万円増加し、121,003百万円となりました。また資本については、利益剰余金の増加が寄与し、前連結会計年度末比16,151百万円増加の466,964百万円となりましたが、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の80.2%から78.7%と低下しました。

連結キャッシュ・フローの区分別状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は39,036百万円であり、前年同期と比較し5,245百万円増加しました。その主な要因は、税引前四半期利益が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、支出した資金は4,539百万円であり、前年同期と比較し5,529百万円減少しました。その主な要因は、前年同期に発生した有形固定資産の売却による収入の反動減です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は18,832百万円であり、前年同期と比較し1,222百万円減少しました。その主な要因は短期借入金の返済によるものです。

以上の結果、連結キャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ17,035百万円増の92,903百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2021年11月11日に公表した予想値に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	75,868	92,903
営業債権及びその他の債権	115,534	110,436
棚卸資産	81,765	100,106
その他の金融資産	25,679	23,538
その他の流動資産	8,161	8,743
流動資産合計	307,009	335,728
非流動資産		
有形固定資産	160,270	163,593
のれん	6,067	6,114
無形資産	13,532	12,205
持分法で会計処理されている 投資	420	497
その他の金融資産	54,766	55,040
繰延税金資産	6,124	5,497
その他の非流動資産	9,106	9,289
非流動資産合計	250,288	252,238
資産合計	557,298	587,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,009	53,582
借入金	11,220	6,868
未払法人所得税	2,034	5,395
その他の金融負債	3,014	3,789
引当金	1,755	1,913
その他の流動負債	25,085	29,142
流動負債合計	85,118	100,691
非流動負債		
借入金	3,690	2,684
その他の金融負債	10,127	10,127
退職給付に係る負債	3,072	3,208
引当金	6	6
繰延税金負債	1,116	1,039
その他の非流動負債	3,352	3,245
非流動負債合計	21,367	20,311
負債合計	106,485	121,003
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	143,883	143,883
利益剰余金	252,315	261,376
自己株式	△12,092	△12,094
その他の資本の構成要素	8,202	15,012
親会社の所有者に帰属する 持分合計	447,077	462,947
非支配持分	3,735	4,017
資本合計	450,813	466,964
負債及び資本合計	557,298	587,967

(2) 要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	171,715	217,158
売上原価	△103,162	△123,920
売上総利益	68,553	93,237
販売費及び一般管理費	△59,014	△67,396
その他の収益	12,526	1,062
その他の費用	△3,123	△350
営業利益	18,941	26,552
金融収益	2,491	2,320
金融費用	△513	△607
持分法による投資利益	121	147
税引前四半期利益	21,041	28,412
法人所得税費用	△7,204	△8,052
四半期利益	13,837	20,360
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,732	20,201
非支配持分	104	159
四半期利益	13,837	20,360
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	39.50	58.11
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	13,837	20,360
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	1,814	2,055
項目合計	1,814	2,055
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,229	5,002
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	187	△3
持分法によるその他の包括利益	△0	8
項目合計	2,416	5,007
その他の包括利益合計	4,231	7,062
四半期包括利益	18,068	27,423
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,878	26,997
非支配持分	190	426
四半期包括利益	18,068	27,423

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計			
2020年4月1日残高	54,768	143,884	248,515	△12,089	2,002	△5,982	△5	△3,986	431,091	3,457	434,549
四半期利益	—	—	13,732	—	—	—	—	—	13,732	104	13,837
その他の包括利益	—	—	—	—	2,002	2,143	△0	4,145	4,145	85	4,231
四半期包括利益	—	—	13,732	—	2,002	2,143	△0	4,145	17,878	190	18,068
配当金	—	—	△13,558	—	—	—	—	—	△13,558	△174	△13,732
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	△0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	25	—	△25	—	—	△25	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△0	△13,533	△2	△25	—	—	△25	△13,561	△174	△13,735
2020年12月31日残高	54,768	143,883	248,714	△12,091	3,979	△3,839	△6	133	435,409	3,473	438,883

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計			
2021年4月1日残高	54,768	143,883	252,315	△12,092	4,291	3,915	△4	8,202	447,077	3,735	450,813
四半期利益	—	—	20,201	—	—	—	—	—	20,201	159	20,360
その他の包括利益	—	—	—	—	2,052	4,735	8	6,796	6,796	266	7,062
四半期包括利益	—	—	20,201	—	2,052	4,735	8	6,796	26,997	426	27,423
配当金	—	—	△11,125	—	—	—	—	—	△11,125	△144	△11,270
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△13	—	13	—	—	13	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	0	△11,139	△2	13	—	—	13	△11,127	△144	△11,272
2021年12月31日残高	54,768	143,883	261,376	△12,094	6,357	8,651	3	15,012	462,947	4,017	466,964

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	21,041	28,412
減価償却費及び償却費	12,707	12,970
金融収益及び金融費用	△2,036	△989
持分法による投資利益	△121	△147
固定資産除売却損益	△10,219	77
棚卸資産の増減	11,088	△16,794
営業債権及びその他の債権の増減	23,964	7,244
営業債務及びその他の債務の増減	△16,755	9,792
退職給付に係る負債の増減	△1,037	△24
引当金の増減	1,359	131
その他	△1,292	1,950
小計	38,699	42,624
利息の受取額	544	546
配当金の受取額	160	138
利息の支払額	△143	△105
法人所得税の支払額	△5,469	△4,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,791	39,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	△1,929	1,458
有価証券の取得による支出	△6,000	△18,000
有価証券の売却及び償還による収入	5,800	19,600
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,906	3,133
有形固定資産の取得による支出	△11,484	△9,077
有形固定資産の売却による収入	10,172	508
無形資産の取得による支出	△2,808	△2,328
その他	334	166
投資活動によるキャッシュ・フロー	990	△4,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	604	2
短期借入れの返済による支出	△604	△4
短期借入金の純増減額	△1,527	△6,843
長期借入れによる収入	4,244	2,222
長期借入れの返済による支出	△4,598	△1,110
リース負債の返済による支出	△1,977	△1,801
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△13,574	△11,143
非支配持分への配当金の支払額	△174	△149
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,609	△18,832
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,019	1,370
現金及び現金同等物の増減額	18,191	17,035
現金及び現金同等物の期首残高	47,167	75,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,358	92,903

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	140,257	30,458	1,000	171,715	—	171,715
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	140,257	30,458	1,000	171,715	—	171,715
セグメント利益	17,332	592	1,016	18,941	—	18,941
金融収益						2,491
金融費用						△513
持分法による投資利益						121
税引前四半期利益						21,041

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

3. 金属加工機械事業の「セグメント利益」には、小牧工場売却に伴い計上した売却益を含んでおります。

4. その他の「セグメント利益」には、保険代理店業務を営む当社連結子会社の事業を譲渡した際の譲渡益を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	177,748	38,479	929	217,158	—	217,158
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	177,748	38,479	929	217,158	—	217,158
セグメント利益	21,537	4,366	648	26,552	—	26,552
金融収益						2,320
金融費用						△607
持分法による投資利益						147
税引前四半期利益						28,412

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注状況

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			
	受注高		受注残高		受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	130,363	73.3	54,352	77.5	205,107	73.5	99,856	76.5
微細溶接部門	15,100	8.5	4,880	6.9	24,305	8.7	10,634	8.1
切削・研削盤部門	21,731	12.2	5,185	7.4	32,452	11.7	10,042	7.7
プレス部門	9,712	5.4	5,728	8.2	16,303	5.8	10,103	7.7
その他	1,000	0.6	—	—	929	0.3	—	—
合計	177,907	100.0	70,146	100.0	279,098	100.0	130,637	100.0

2. 販売実績

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	124,634	72.6	158,865	73.2
微細溶接部門	15,622	9.1	18,882	8.7
切削・研削盤部門	21,291	12.4	27,532	12.7
プレス部門	9,167	5.3	10,947	5.0
その他	1,000	0.6	929	0.4
合計	171,715	100.0	217,158	100.0